

## まんが王国・土佐情報発信拠点整備基本構想案へのご意見に対する考え方

まんが王国・土佐情報発信拠点整備基本構想案について、平成30年11月5日(月)から平成30年12月4日(火)まで県民の皆様からのご意見を募集しましたところ、3名の方から12件のご意見をいただきました。

お寄せいただいたご意見とご意見に対する考え方について、下記のとおり取りまとめましたので、公表します。

ご意見をお寄せいただいた皆様にお礼申し上げます。

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
1	<p>【漫画を自由に読ませる意味がよく分からない】 誰に来てもらいたいのか、誰のためなのか明示されておらず、一部の市民の娯楽にしかならず、観光や少しの時間だけ高知市に足を運んだ人がここでまんがをじっくり読むとは考え難い。</p>	<p>読書コーナーは、毎年、新刊を大量に購入し、書籍を入れ替える「まんが図書館」ではなく、寄贈の「雑誌」を中心にした「保管・収蔵」を目的とし、貴重なバックナンバーの表紙から時代の移り変わりを感じ取れるなど、まんが文化の資料館的な機能を持たせたいと考えております。雑誌にはカバーを掛けるなど傷まないような工夫を行います。</p>
2	<p>【まんがを税金で大量購入しつづけるのはどうか】 まんが(特に、「雑誌」)を大量購入しつづけるのは税金の無駄遣いであり、まんが施設がネガティブイメージがつく。雑誌は痛むのでアーカイブできないし、付録を含めて価値があるので、自分で購入するのが基本。まわりの書店へのダメージも甚大。</p>	<p>また、まんが甲子園や全国漫画家大会議で来県していただいた漫画家の方のコミックなどを、出版社に寄贈していただいたり、購入したりして収蔵していく予定ですが、書店に影響を与えるほどの分量ではない予定です。紙媒体のまんがが離れが進む中、まんがの魅力を再発見してもらうことが目的のひとつですので、全巻そろえる予定はありません。</p> <p>情報発信のあり方についても、運営経費を十分に考慮する必要がありますので、管理運営についての最適な方法を検討しているところです。</p>
3	<p>【コミックの自由な閲覧は、巻数の制限を】 コミックを自由に閲覧できるのだとしたら、すべて「1巻」(多くても3巻まで)だけにすること。</p>	
4	<p>【地震対策】 天井まで本棚になっているが地震対策はどうなっているのか。</p>	<p>県民の方に広く利用していただくことを予定しておりますので、設置する本棚等は固定するなど、地震対策は十分行います。</p>
5	<p>【子ども図書館と同居の懸念】 こどもの図書館は、親子で絵本を読んで充実した時間を過ごせる素敵な図書館なのに、同居によってまんが側にこどもが流れてしまうと、とても嫌です。こどもがまんがを読む機会が大切なことは重々承知しているが、絵本を読む期間、機会の方が大切。こどもの図書館の読み聞かせ会や、音楽会や折り紙教室など、いつも取り組みが素敵なので、こどもの図書館に広く有効に使ってもらいたいし、畳を敷いたりして、ゆったり読書スペース&amp;イベントスペースにしてもいい、ターゲットもコンセプトもポリシーも不明瞭なまんが施設は、ここにはない方がマシだと思う。</p>	<p>この拠点は、「まんが王国・土佐」のまんが文化に出会い、楽しみ、集い、学べる施設を目指していますので、こども図書館とはコンセプトが異なることからご心配には至らないと考えますが、運営に当たっては子ども図書館と連携して子どもの集いの場として、相乗効果を生むよう取り組みたいと考えています。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
6	<p>【漫画家の協力には日当の支払いを】 「スタジオコーナー」のミニスタジオで、漫画家の執筆現場を見学させる場合は、ちゃんとした日当を払ってほしい。</p>	<p>漫画家にこういった形でご協力をいただくかについては、今後、検討してまいります。</p>
7	<p>【まんがに関するフリーペーパーの発行】 ローカル作家さんのまんが、まんが施設のパンフレットやフリーペーパーなどを発行すれば、関係者や作家(の卵)の支援になる。投稿ハガキが載るような素人コーナーから、お絵描きにめざめる人もいるので、自分の描いた絵が印刷されてたくさん配布される！というチャンスを高知の若い人に与えてほしい。 まんが施設での活動報告と、まんが施設での体験教室で生まれた作品を載せるなど、まんが雑誌の購入などを取りやめれば十分に実現できるのではないか。</p>	<p>作品の発表の機会の創出や情報発信を充実したいと考えておりますので、参考にさせていただきます。</p>
8	<p>【他の施設の展示物を増やさないでほしい】 アンパンマンとフクちゃんの展示はすでに立派な施設があるのでその紹介にとどめて、強引に展示物を増やさないでほしい。</p>	<p>「まんが王国・土佐紹介コーナー」で、本県出身の著名な漫画家である横山隆一先生やなせたかし先生の功績等をご紹介させていただくことも予定しておりますが、内容等については今後検討してまいります。</p>
9	<p>【まんが甲子園をPRするよりもまんが制作コーナーの設置を】 まんが甲子園が有意義なのはわかるがPRするターゲットがわからないし、この場所でする必要がない。施設の来館者へPRする意味は皆無。パネル1枚程度の展示で十分。まんが制作にチャレンジするようなコーナー(ペンタブの使い方やトーンの貼り方など)を設置したほうがよい</p>	<p>県民や観光客、まんが甲子園OB、OGなどの来場者にまんが甲子園のことを理解してもらい、また振り返ってもらうなど「まんが王国・土佐」の大きな柱としてPRしていくとともに、再現するまんが甲子園ブースや3階のワークショップコーナーでは、アナログやデジタルの作画体験を予定しています。</p>
10	<p>【アクセスが悪い】 施設の無料駐車場がないため、行かない、または、徒歩圏の住人だけが漫画を読む「公営まんが喫茶」となる。高知城を訪れた観光客が文学館やオーテピアなどについてに入る可能性はかなり低い。ターゲットが「高知のキッズ」であれば大型ショッピングセンターなどが、「観光客」に気軽に足を運んでほしいのであれば、高知駅の龍馬の家セットをそろそろ入れ替えて、整備すればいい。</p>	<p>高知市中心部に位置しており、公共交通機関でのアクセスも良く、観光客や周辺の学校の生徒などにとって、利便性は高いものと考えています。</p>
11	<p>高知こどもの図書館が移動するのは賛成。 「まんが王国・土佐」の情報発信拠点として施設を作るのは反対。施設を作るよりも、発信したい内容を漫画にしてホームページやSNSに載せるか、紙の本にして発信していけばよいと思う。オーテピアの高知みらい科学館のように、展示物がすぐに破損しそう。</p>	<p>「まんが王国・土佐」としての取り組みの情報発信を行うとともに、将来のまんが文化を担う人材育成の拠点とするものです。現時点においては、今ある「まんが王国・土佐」の資産の発信や蓄積をしていくとともに、作画体験や人材育成のワークショップなどを展開していく予定です。 また、ご意見のように、ホームページやSNSもこれまで以上に活用しながら情報発信していく予定です。 展示物等については、安全かつ目的にあった利用をしていくためにもスタッフを配置する予定です。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
12	<p>以下の二つの理由により、構想の中止を求める。</p> <p>1. 施設整備以前に、「まんが王国・土佐」の位置付けについての県民への説明がほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まんが王国・土佐推進協議会」の他に、今回の整備案の構想検討委員会も立ち上げたようだが、いくつも組織が必要なのか。県との役割分担もどのようにされているのか。</li> <li>・「まんが王国・土佐」を宣言することの意味が県民に必ずしも理解されていない。必要なのは、施設整備以前に「まんが王国・土佐」についての基本方針だと考える。「まんが王国」の名称を高知が先行とはいえ存在感が薄れており、見直しを考えては。「まんが王国・土佐」の実績とは、具体的にどんな成果が得られたのか。具体的に県民にとってどのような形で還元されているのか。一部の人が関係ないのではないか。</li> <li>・「まんが王国・土佐」のサイトをみてもコンセプトがはっきりしないし、情報が古い。</li> <li>・施設整備案の「基本方針」に人材育成とあるが、人材を育成した先の展望はあるのか。高知県として、漫画家が様々な形で活躍でき、安定した生活を送るための基盤づくりを計画、提示するまでに至らなければ、先の展望はあるのか。例えば、まんがを高知が誇る産業として他へ輸出する、ぐらゐの高い目標を掲げ、具体的なアプローチを行い、県民の広い支持が得られるようなビジョンを示すとか、若手の漫画家や企業を支援する補助金制度なども創設すべきではないか。</li> </ul>	<p>高知県は、著名な漫画家を数多く輩出するとともに、県民の皆様がまんがに親しみ、文化として育んできた歴史があり、昭和63年にまんが甲子園の前身である「あったかこうちまんがフェスティバル」で、当時の知事により日本で初めて「まんが王国」を宣言し、県を挙げて「まんが王国」の取組を推進してきました。</p> <p>まんが甲子園や全国漫画家大会議では、これまで多くの高校生や漫画家等に来県いただき、日本漫画界や出版業界、海外からも高い評価を受け、また、高知ファンになっていただいています。</p> <p>こうした「まんが王国・土佐」の取組を高知県の特長として国内外に発信するとともに、まんがによる人材育成を通じて、漫画家やイラストレーターなどまんがの道を志す若者を応援することはもとより、まんがによる表現力や想像力、発想力など様々な場面で自分の考えやアイデアを表現し活躍できるスキルとして身につけ、様々な分野で活躍できる人材を育成することを目指し取り組んでいます。</p> <p>「まんが王国・土佐」ポータルサイトにより、情報発信を行っているところですが、更に充実させていくよう、現在の取組や成果などについてもわかりやすくタイムリーな情報発信に努めていきます。</p>
	<p>2. 施設整備案の内容が、県民にとって魅力のあるものとは思えない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「まんが王国・土佐」の取り組みの実績や関連情報の発信、「まんが甲子園」の展示は、データベースがすでに公開をされており、施設を作らなくてもできる。</li> <li>・まんがに関心のある人にとっては、自分が好きなまんがやアニメについての魅力的な事柄があるかどうかでそこを訪れるかどうかが決まるのであり、「まんが王国・土佐」の取り組みの記録自体をわざわざ県外から足を運んで見に来ようという人がいるのか。デジタル化で済む部分と、いわゆる聖地めぐりなどの実際の体験が感動を呼び起こす部分と違いを考えないと、人を呼ぶことにはつながらないと考えるが、戦略等は検討されているのか。</li> </ul>	<p>「まんが王国・土佐」としての取組の情報発信を行うとともに、将来のまんが文化を担う人材育成を行う拠点とするものです。</p> <p>基本構想(案)に掲げた基本コンセプト「『まんが王国・土佐』のまんが文化に出会い、楽しみ、集い、学べる施設を目指す」こととして、県民の皆様をはじめ多くの方に親しんでいただける施設となるよう取り組んでまいります。</p> <p>基本構想(案)を実現するための予算や人員体制については、現在、検討を行っています。整備費用とともに、開設後の運営管理について、人員体制の面でも最適な方法を検討しているところです。</p>

番号	ご意見の概要	ご意見に対する考え方
	<p>・全国漫画家大会議などで培った人脈を活かすためであっても施設整備が必要とも思えないし、「大会議」の機会を捉えて参加ゲストと県の関係者が高知の漫画を盛り上げるための方策を話し合っって次の一手を決め、何らかの宣言が出される、等の目に見える成果を出してもらいたい。</p> <p>・県内各地で既存施設(公民館や図書館、イベント会場など)を活用したり各市町村と連携して随時ワークショップや講座等を開けば良いし、駐車場もない郡部の県民にとっては当地は不便で行きたくとも行けない。県民のためにと考えるのであれば、中心市街地に拠点があれば良いわけではないはずである。</p> <p>・公文書館の「余った場所を有効活用する」のが最大の動機で、ここに整備する必然性が感じられない。まんが文化を本当に重要と考えているのか。空きスペースでは、キャパの上限が限られているが、まんがを収集・保存する機能まで持たせられるのか。公文書館のスペースも将来的にもっと必要になるのではないか。オーテピア高知図書館など、まんがを収集している近隣の施設との連携は考えているのか。</p> <p>・「マンガ読書コーナー」の目的がはっきりしない。図書館機能を持たせたいのか、単なる展示か、まんが喫茶のようなものなのか。どこまで収集するのか。雑誌は買い続けるのか、「時代の移り変わりを感じ」る程度なのか。スペース的に、中途半端な「まんがが無料で読める」場所とならないか。</p> <p>・運営、人員態勢はどうするのか。ある程度の知識のある人間を適切に配置しないと、収集も保存も立ち行かなくなるし、資料の新陳代謝も図れない。「つくりっぱなし」「置きっぱなし」にならない態勢が取れるのか。整備した後、将来へ向けてどのくらいの費用が必要になるのか。費用をかけたとして、県民にとって税金の使い道としてふさわしいのか。</p>	